

# 第1部 総説

## 第1章 宮崎市の概要

### 1 沿革

宮崎市は、大正13年4月1日に宮崎郡宮崎町、大淀町および大宮村の廃置分合を行い、市制を施行しました。市制施行当時の人口は42,920人、面積は45.15km<sup>2</sup>でした。

その後、昭和7年4月に檜村を、昭和18年4月に赤江町を、昭和26年3月には瓜生野、木花、青島、倉岡の4村を編入合併し、さらに昭和32年10月に住吉村を、昭和38年4月に生目村を編入合併しました。

平成10年4月1日には、政令指定都市に次ぐ事務権限をもつ中核市に移行しました。

平成18年1月1日に近隣の佐土原、田野、高岡の3町を、さらに平成22年3月23日には清武町を編入合併し、人口約40万人、面積644.61km<sup>2</sup>の県都として、新たなスタートを切り、なお一層市民に密着した市政を目指し、九州の中核都市にふさわしい特色あるまちづくりを進めています。

### 2 自然条件

#### (1) 気候

本市の気候の特徴は、南海気候区に属する温暖な地域であり、黒潮の影響で寒暖の差が比較的小さく、また、全国的に降水の多い地域でありながら、日照時間が長いのも特徴です。

快晴日数(平年値)	平均気温	降水量(平年値)	日照時間(平年値)	備考
57日 (全国3位)	17.0℃ (全国3位)	2,434.6mm (全国3位)	2,103時間 (全国3位)	1961年～1990年の 平均値
54.3日 (全国3位)	17.2℃ (全国3位)	2,457mm (全国3位)	2,108時間 (全国3位)	1971年～2000年の 平均値
	17.8℃	2,219mm	2,172時間	2009年の値

資料：気象庁「日本気候表」観測地点はおおむね県庁所在都市  
「2009年の値」については、「宮崎市みにミニ統計」による。

#### (2) 位置・地形等

本市は、宮崎県のほぼ中央に位置し、東は、約47kmの風光明媚な砂浜と波状岩の海岸線となっており、西は小林市・都城市・三股町と、南は日南市と、北は新富町・西都市・国富町・綾町とそれぞれ接しています。

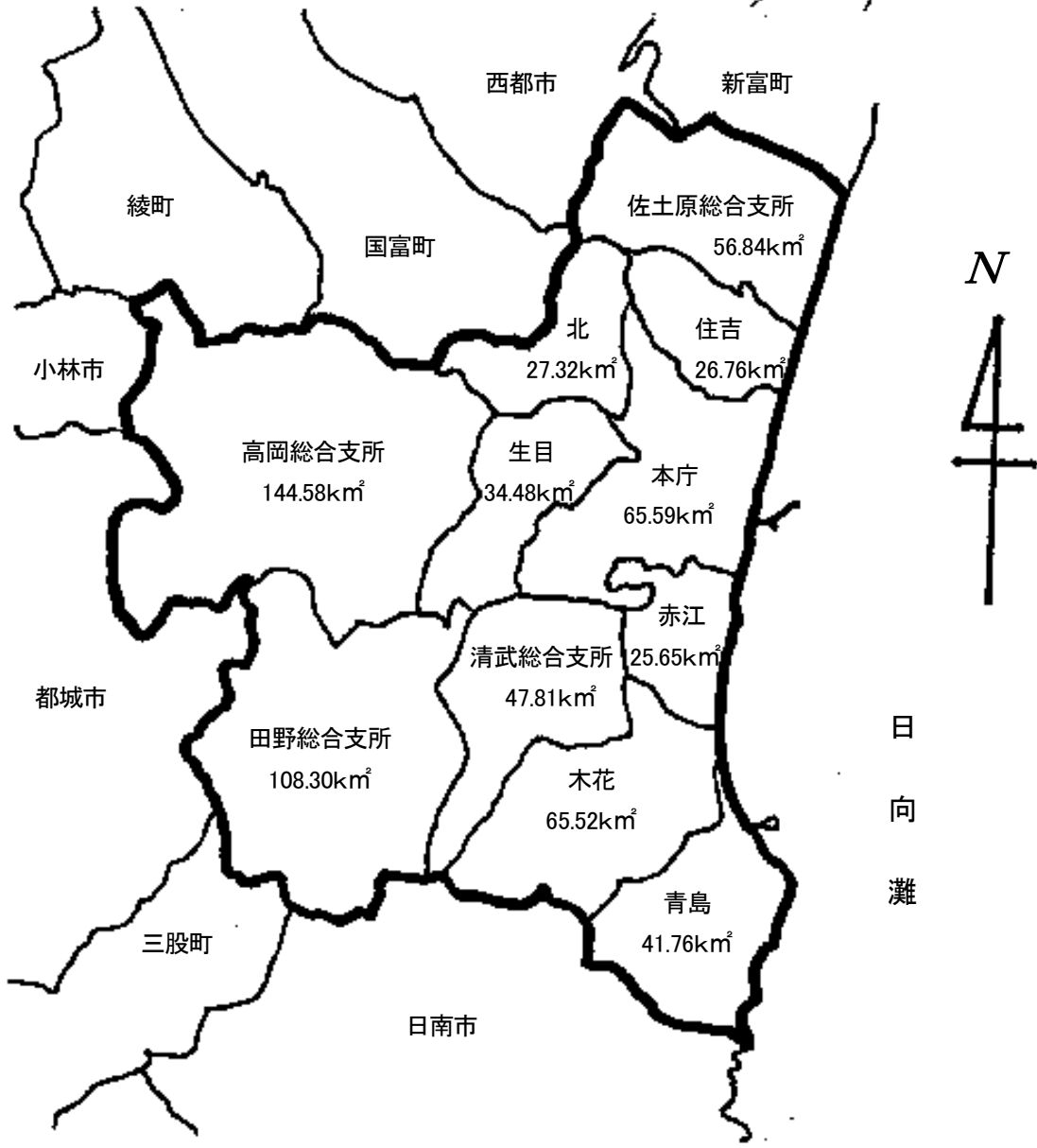
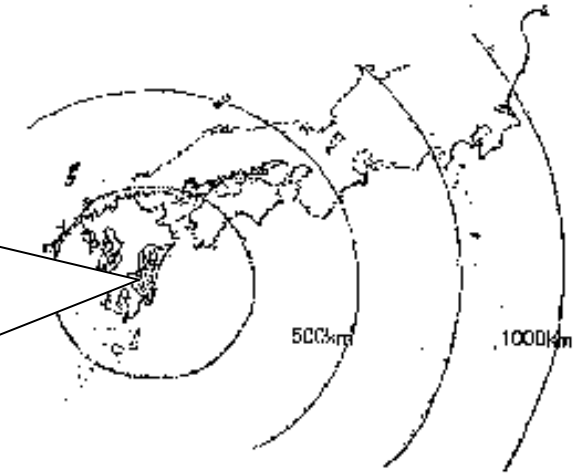
地形はおおむね平坦で、中央に広がる宮崎平野を囲むように北部から西部にかけて丘陵を連ね、南部も双石山系が東西に連なり海岸に迫っています。

河川は、一級河川45本、二級河川43本、準用河川33本があり、流路延長(※)は、664.820kmに及びます。なかでも宮崎平野を西から東へ貫流する大淀川、清武川、加江田川や、本市の北端を流れる一ツ瀬川は、豊かな水と緑を有し、すばらしい自然の景観を呈しています。

※流路延長は、起終点延長の合計延長です。

### 宮崎市市域図

〈位置〉  
極 東：東経131° 30' 21"  
極 西：東経131° 11' 21"  
極 北：北緯32° 03' 57"  
極 南：北緯31° 43' 16"  
東西の距離：29.9km  
南北の距離：38.3km



### 3 社会経済の現況

#### (1) 人口

本市の人口は市政施行時には約4万人でしたが、その後、市域の拡大や自然増、社会増で平成7年には30万人を超え、平成18年1月及び平成22年3月の合併により約40万人となりました。

#### 【人口の推移】

(各年10月1日現在)

年	世帯数	人口	人口密度 (1km <sup>2</sup> あたり)	面積 (km <sup>2</sup> )	備考
大正13年	7,800	42,920	951	45.15	市制施行
14年	8,780	42,945	951	〃	第2回国勢調査
昭和5年	10,652	54,600	1,209	〃	第3回国勢調査
10年	12,925	64,726	1,058	61.19	第4回国勢調査
15年	13,258	66,497	1,087	〃	第5回国勢調査
22年	20,666	92,144	1,052	87.57	第6回国勢調査
25年	22,658	103,443	1,181	〃	第7回国勢調査
30年	30,593	140,782	628	224.04	第8回国勢調査
35年	39,072	158,328	629	251.75	第9回国勢調査
40年	49,446	182,870	640	285.94	第10回国勢調査
45年	60,765	202,862	709	〃	第11回国勢調査
50年	75,496	234,347	820	285.96	第12回国勢調査
55年	91,283	264,855	926	285.90	第13回国勢調査
60年	97,434	279,114	976	〃	第14回国勢調査
平成2年	104,349	287,352	1,004	286.31	第15回国勢調査
7年	116,735	300,068	1,047	286.59	第16回国勢調査
12年	123,810	305,755	1,065	286.96	第17回国勢調査
17年	150,549	366,897	615	596.80	第18回国勢調査
(宮崎)	(129,907)	(310,123)	(1,080)	(287.08)	(第18回国勢調査)
(佐土原)	(11,794)	(32,981)	(580)	(56.84)	(第18回国勢調査)
(田野)	(4,345)	(11,580)	(107)	(108.30)	(第18回国勢調査)
(高岡)	(4,503)	(12,213)	(85)	(144.58)	(第18回国勢調査)
18年	152,812	367,829	616	596.80	現住人口
19年	154,905	368,777	618	596.80	現住人口
20年	156,866	369,427	619	596.80	現住人口
21年	171,017	398,407	618	644.61	現住人口
(宮崎)	(158,541)	(369,706)	(619)	(596.8)	(現住人口)
(清武)	(12,476)	(28,701)	(600)	(47.81)	(現住人口)

#### (2) 交通

道路網は、高速道路と中心市街地から周辺部へ延びる放射状の道路やこれを補完する環状線や生活道路から構成されています。その中で、東九州自動車道や国道5路線（バイパス区間を含む）、主要地方道13路線、一般県道33路線及び市道の未整備区間の整備が進められています。

鉄道は、JR日豊線、JR日南線が市街地の中央部を南北に縦断しています。

また、宮崎港は、昭和48年に重要港湾に指定され、南九州の物流拠点となっており、大阪、名古屋、沖縄などの航路が開設されています。航空路は、東京、名古屋、大阪、福岡、高知、広島、長崎、沖縄の各路線が開設されています。

自動車台数は、乗用自動車台数が減少し、軽自動車台数は増加しています。

## 【市内自動車台数】

(単位：台)

年	貨物自動車	乗合自動車	乗用自動車	特種(殊)用途車	軽自動車
平成 14	18,827	634	113,439	4,102	99,321
15	18,334	625	113,729	4,030	100,764
16	17,729	616	113,312	3,954	103,045
17	22,153	735	127,458	4,769	134,978
(宮崎)	(17,577)	(609)	(113,671)	(3,886)	(105,932)
(佐土原)	(2,177)	(57)	(5,669)	(489)	(16,093)
(田野)	(1,304)	(20)	(3,896)	(142)	(6,313)
(高岡)	(1,095)	(49)	(4,222)	(252)	(6,640)
18	21,902	729	132,745	4,700	137,698
19	21,714	718	130,755	4,759	140,686
20	21,097	725	127,905	4,757	144,034
21	20,227	738	124,983	4,684	147,674

※軽自動車を除く自動車については各年3月末現在（九州運輸局宮崎運輸支局）

※軽自動車については各年度4月1日現在（市民税課）

※平成21年度は、旧清武町分を除く。

## (3) 産業

平成17年実施の国勢調査によると産業別就業者割合は、第1次産業が5.7%、第2次産業が17.2%、第3次産業が75.4%となっています。地域別で見ると、旧宮崎市域はサービス産業の占める割合が高く、旧3町域では農業が盛んな他にも大規模な工業団地があり、企業誘致の推進を図っています。

(人)

区分	宮崎	佐土原	田野	高岡	計
総数	146,338	16,575	5,982	6,060	174,955
第1次産業	5,633 (3.8%)	1,870 (11.3%)	1,341 (22.4%)	1,208 (19.9%)	10,052 (5.7%)
第2次産業	22,957 (15.7%)	4,019 (24.2%)	1,655 (27.7%)	1,432 (23.6%)	30,063 (17.2%)
第3次産業	115,179 (78.7%)	10,464 (63.1%)	2,952 (49.3%)	3,344 (55.2%)	131,939 (75.4%)

※（ ）内の数値は地域別の構成比。

※総数に分類不能を含む。

※本表は、旧清武町分を除く。

## (4) 土地利用

市域の総面積は644.61 km<sup>2</sup>で、地目別土地面積は、宅地面積が54.95 km<sup>2</sup>、田畑面積が106.93 km<sup>2</sup>、山林・原野等の面積が225.3 km<sup>2</sup>、雑種地面積が21.02 km<sup>2</sup>などとなっています。森林は、旧宮崎市域南部、旧4町域に広く分布しており、田畑は市街地を囲むように周辺に分布し、市街地の形状は、橋通を中心としてほぼ同心円状にまとまっています。

※宅地、田畑、山林・原野、雑種地等の面積は、宮崎市統計書（平成22年7月発行）より。

## 5) 都市計画区域等面積

本市は、平成18年及び平成22年の隣接4町との合併を経て、宮崎広域都市計画区域（線引き）と田野都市計画区域（非線引き）の2つの都市計画区域が併存しています。

用途地域の状況は、宮崎広域都市計画区域約27,578haのうち、約6,245ha（都市計画区域の約23%）、田野都市計画区域約765haのうち、約235ha（都市計画区域の約31%）です。

平成22年4月1日現在の用途地域の内訳は次のとおりです。

## ①宮崎広域都市計画区域 (ha)

区 分	宮 崎	佐土原	高 岡	清 武	計
用途地域	約 4,912	約 576	約 189	約 568	約 6,245
第一種低層住居専用地域	約 1,637 (33.4%)	約 110 (19.1%)	0 (0.0%)	約 100 (17.6%)	約 1,847 (29.6%)
第二種低層住居専用地域	0 (0.0%)	約 63 (10.9%)	0 (0.0%)	約 18 (3.2%)	約 81 (1.3%)
第一種中高層住居専用地域	約 134 (2.7%)	約 36 (6.3%)	約 21 (11.1%)	約 8 (1.4%)	約 199 (3.2%)
第二種中高層住居専用地域	約 542 (11.0%)	0 (0.0%)	約 31 (16.4%)	約 69 (12.2%)	約 642 (10.3%)
第一種住居地域	約 677 (13.8%)	約 186 (32.3%)	約 105 (55.6%)	約 154 (27.1%)	約 1,122 (18.0%)
第二種住居地域	約 999 (20.4%)	約 41 (7.1%)	約 7 (3.7%)	約 52 (9.2%)	約 1,099 (17.6%)
準住居地域	約 11 (0.2%)	約 26 (4.5%)	0 (0.0%)	約 44 (7.7%)	約 81 (1.3%)
近隣商業地域	約 207 (4.2%)	約 16 (2.8%)	約 18 (9.5%)	約 19 (3.3%)	約 260 (4.1%)
商業地域	約 184 (3.7%)	約 16 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	約 200 (3.2%)
準工業地域	約 321 (6.5%)	0 (0.0%)	約 7 (3.7%)	約 5 (0.9%)	約 333 (5.3%)
工業地域	約 108 (2.2%)	約 79 (13.7%)	0 (0.0%)	約 87 (15.3%)	約 274 (4.4%)
工業専用地域	約 92 (1.9%)	約 3 (0.5%)	0 (0.0%)	約 12 (2.1%)	約 107 (1.7%)

## ②田野都市計画区域 (ha)

区 分	田 野
用途地域	約 235
第一種中高層住居専用地域	約 41 (17.4%)
第一種住居地域	約 158 (67.2%)
近隣商業地域	約 31 (13.2%)
準工業地域	約 5 (2.1%)

※①、②共に、( )内の数値は地域別の構成比。